

# 健やかいずみ



和泉市立病院だより

第137号

編集・発行

平成26年3月1日発行

〒594-0071

和泉市府中町四丁目10-10

☎0725 (41) 1331

## 子宮内膜症



婦人科 村上 誠

### (はじめに)

子宮内膜症とは、本来、子宮の中にしか存在しないはずの子宮内膜が、子宮以外の場所にてきる病気で、生殖年齢の女性の10人に1人は罹患しているといわれています。

月経期になると子宮以外の場所にできた子宮内膜も剥離・出血しますが、血液や内膜を体外に出すことができず、体内

### (症状)

子宮内膜症はまったく症状のない人もいますが、子宮内膜症の症状は内膜症のある場所、大きさ、癒着の程度などにより異なります。共通してみられる症状は激しい月経痛で、そのために救急車を呼ぶことがある程度です。初経後数年間はそうでもなかったのに、だんだん強くなるという特徴があります。これは子宮内膜症が女性ホルモンの影

響を受けていることから説明できます。月経痛以外に性交痛、不妊、過多月経、不正出血、月経時以外の腹痛・腰痛などもみられます。

### (診断)

年齢や症状、内診と直腸診、血液腫瘍マーカー(CA125)検査、超音波断層法検査、MRI検査、CT検査などを駆使して診断します。なかでも確定診断と進行状況を診断するには、腹腔鏡検査が必要となる場合があります。腹腔鏡検査は腹部の3〜4箇所小さな穴をあけ、直接お腹の中を観察する検査です。

### (治療)

薬物治療…月経痛が強い場合、痛み止めによる対症療法を行います。それでも痛みが強い場合、

または長期に持続する場合には子宮内膜がホルモンの影響を受けることを利用して、低用量ピルや黄体ホルモン製剤を処方したり、6ヶ月限定の治療となりますがGnRHα(排卵誘発剤)を利用した偽閉経療法を行うこともあります。薬物療法は副作用もあるため定期的に医師の診察が必要となります。

手術療法…腹腔鏡下手術(病変の焼灼、癒着の剥離、卵巣チョコレート嚢胞摘出、洗浄など)

### (メッセージ)

月経痛が強い、性交痛が強い、月経量が多い、月経以外に出血がある、不妊症で悩んでいる人等は子宮内膜症のおそれがありますので一度婦人科を受診してみてください。

